

評価項目	自己評価				学校関係者評価		
	達成度	3年度	2年度	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
進路指導	進路指導は生徒ひとり一人の目標達成に役立つように計画され、推進されている。	A 86.9% (三者)	A 87.5% (三者)	A 89.1% (三者)	コロナ禍にあっても生徒の進路実現に向けて自分たちに来ることは何かを全職員で検討し、実施し続けてきた。今後も継続していく。	A	A
	適切なキャリア教育(望ましい職業観・就業観の育成)が計画的に実施された。	B 83.6% (教)	A 86.2% (教)	B 74.5% (教)	上級学校セミナーは、ようやく例年通りの形に戻し、各学年に応じた進路指導を丁寧に行った。来年度も今までの蓄積を活かし改善を検討しつつ丁寧に実施する。		
	長期休業中や放課後に行っている講習は効果的なものである。	B 78.9% (三者)	B 77.8% (三者)	B 84.8% (三者)	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、学年や教科担当者や相談・調整しつつ実施可能なことを実現可能な範囲で進めた。来年度についても、最大限実施する方向で計画を立てつつ、状況を見て柔軟に対応していく。		
学校関係者評価者による意見	・Bについては新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。また、講習のシステムの在り方について、今の生徒に合致しているか、考え直していく必要がある。 ・改善の方策を見ても、適切におこなわれているのではないと思う。						
特別活動	学校祭や球技大会等の生徒会行事は生徒にとって満足できるものである。(昨年の学校祭は中止)	A 90.9% (三者)	B 80.5% (三者)	A 94.5% (三者)	今年度もコロナの学校行事への影響は大きく、様々な配慮が求められた。そのような中でも工夫を凝らし、できることを増やしていったことが、今年度の結果に反映されたと考える。コロナに対する判断・対応が更に変わっていく中、慎重に検討しながら生徒の活躍の場を増やしていきたい。	A	A
	SHRやLHRは、有効に活用されている。	A 88.9% (生・教)	A 85.0% (生・教)	B 82.7% (生・教)	SHR・LHRについては特別活動だけのことではないが、正確・確実な連絡の場・教科の学習とは違った学びの場として、今後も有効に活用できるよう努めたい。		
	部活動と学習を両立させている生徒が多い。	B 72.2% (三者)	B 75.3% (三者)	B 77.6% (三者)	部活動と学習のバランスを図るために、各部顧問とHR担任との連携を密にし、両者が生徒の状況を把握し、文武両道を実現する意欲を喚起できるよう努めたい。		
学校関係者評価者による意見	・だんだんと元の形に戻ってきているが、学校祭でも学年ごと等の制約がある中でも、Aの評価になってきたのでは。 ・部活の時間が長く、勉強時間確保の面で親と子どもで議論することがある。通学時間が長い生徒の場合、特に勉強時間がなくなる。やはり親として、勉強時間を確保してほしい。						
健康安全	教育相談・スクールカウンセラーが充分機能している。	A 92.7% (教)	A 86.2% (教)	A 89.4% (教)	コロナ禍で中止になっていた学校行事が、今年度徐々に復活してきた。そのためか、人間関係などの悩みを抱えた生徒が顕在化してきた。学年、保健室、SCと連携を取りながら日常の相談活動に加えて、今後は深刻化する個別の案件に対応する幅広い情報収集と担当者個々のスキルアップを図っていききたい。	B	A
	清掃活動や環境美化に力を入れている。	B 80.9% (三者)	B 80.6% (三者)	B 82.7% (三者)	大掃除では特別に用具を配布するなどして、全員で取り組めるような工夫をした。用具の点検・交換なども定期的に行っているが、評価が高くはないため、日常の環境美化について意識付けを行っていききたい。		
	来校者や不審者に対する対応(セキュリティーチェック)が適切に行われている。	B 80.0% (教)	B 77.6% (教)	A 85.1% (教)	セキュリティー上の大きな問題は生じなかった。今後も危機管理マニュアルを定期的に見直し、安心、安全な学校運営に努めたい。		
学校関係者評価者による意見	・この評価通りでOKかと思う。例えば生徒にポリ袋を常に持たせて校内でも気づいたら拾ってもらおう。私の会社では社員が取り組んでいる。目覚める生徒も出てくるのでは。普段はしっかりやっているのでプラスアルファとしての意見ですが。						
開かれた学校	生徒・保護者への連絡や情報公開は適切に行われている。	A 86.9% (三者)	A 89.2% (三者)	A 91.1% (三者)	配布物、保護者メール、GoogleClassroomを併用しながら情報の伝達に遺漏のないよう努めた。生徒の学校での活動を発信する機会の充実にも努めたい。	B	A
	Google Classroomや学校のホームページを有効に活用している。	B 74.5% (三者)	B 75.5% (三者)	B 80.5% (三者)	校内の行事・イベントを始め、生徒の活動の様子をホームページを通じて積極的に伝えることができるように、各所に情報発信の依頼や更新の方法について広めていきたい。		
	保護者からの電話対応や来校者に丁寧に対応している。	A 97.4% (保・教)	A 97.2% (保・教)	A 96.8% (保・教)	今年度も高い評価をいただくことができた。保護者の心情を理解し、心配事に寄り添う対応を心がけ、学校、家庭が一体となって生徒を育成していけるよう心掛けた。		
	PTA活動は充実しており、積極的に活動している。	B 81.6% (保・教)	B 78.4% (保・教)	A 85.5% (保・教)	各学年で開催されたPTA集会では、行事の際の生徒の様子やわかる工夫、適切な進路情報の提供などで好評をいただいた。PTA活動を少しずつ再開させていきますので、より充実させていく。		
学校関係者評価者による意見	・学校HPIについては、例えば生徒会の生徒たちに月に1回など、得意な生徒にやってもらうという方法もあるのでは。						
国際理解	海外研修は学習意欲の向上にや国際理解に役立っている				コロナ禍で3年間未実施である。次年度は開催予定となっている。	C	A
	海外研修に参加してみたい(させたい)ですか。	C 63.8% (生・保)	D 49.3% (生・保)	D 45.5% (生・保)	海外研修を実施できるような状況になれば、魅力的な研修のプランを計画・実施する。そのような状況が難しい場合も、オンラインなどを利用して交流できる場を作りたい。		
学校関係者評価者による意見	・是非、行ったほうが良い。行けるときに行ったほうが、社会に出てからはなかなか難しい。百聞は一見に如かずで、勉強させるべきで、私なら生かせる。 ・40万であれば高いかもしれない。子どもが複数いるとなかなか金銭的に厳しいかも。 ・飛行機代が高いので、なかなか厳しいのでは。国を変えるか、泊数を減らすか。						
【自己評価】 A-十分達成されている B-ほぼ達成されている C-達成されているが課題もある D-課題が多い ※注 評価は総合評価の決定方法に準じ、1. そう思う 2.どちらかといえばそう思う の合計平均が A-85%以上 B-70%以上 C-50%以上 D-50%未満 三者(教職員・保護者・生徒) 教(教職員) 保(保護者) 生(生徒) による評価である。 【学校関係者評価】 A-適切である B-ほぼ適切である C-あまり適切でない D-不適切							